

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、実質的な積み最終週にあたったものの、高水準の当座預金残高を背景に特段の調達意欲は見られなかった。8月から毎週見られていた試し取りは減少傾向にあるが、10日には試し取りと見られる0.12%での調達が見られた。無担保コールO/Nのビット水準は8日から11日までは、大手行が0.06%付近、地銀・信託業態で0.062~0.067%となっていた。週末の12日は週末要因によって上昇し、大手行から0.065%近辺、地銀・信託業態が0.07%付近となっていた。週間の無担保コールO/N加重平均レートは0.067~0.071%での推移となった。ターム物は大手行から1W~1Mの期間で調達が見られた。1Mは四半期越えとなるため出合いの中心は1W~2Wであった。

今週のインターバンク市場は、新しい積み期間に入る。16日はTB3Mの発行超過要因を中心に資金需給上の不足日となるものの、高水準の当座預金残高を背景に、特段の影響は無いと考えられる。主な経済イベントとしては、16~17日のFOMCが挙げられる。

2. オープン市場

先週の短国市場は、日本銀行による短国買入オペや中間期末を控えた購入ニーズの強まりといった要因等によって、週を通して品薄感が強い展開が続いた。8日に実施された6M物の入札は、WI取引で0.000~0.005%の出合いが見られたものの、平均落札利回0.0121%、最高落札利回0.0201%という結果に落ち着いた。しかし、9日に予想外の短国買入オペが5,000億円実施されたことを受け、品薄感が一層強まり、オペ後には6Mで▲0.001%の出合いも見られる等、一段とレートを切り下げる展開となった。11日に実施された3M物の入札は、既発債がマイナス圏での出合いとなっていたことや、主要紙によるマイナスレート買入容認報道もあって、平均落札利回0.0028%、最高落札利回0.0060%と、ほぼ0%近辺での決着となった。その後は全般的に売り物に乏しく、出合いが付き辛い展開となった。12日には短国買入オペが2,500億円に減額され実施された。平均利回較差±0.000%、按分利回較差▲0.009%と、売り物の乏しいマーケットを反映した強めの結果となった。各銘柄の足切による仕上りレートは▲0.003~▲0.02%程度と考えられる。

先週のCP市場は、鉄鋼・石油・電機・建設業態等幅広い業種から大型の発行案件が見られたものの、週間発行総額は、入札ベースの週間償還総額7,700億円とほぼ同程度にとどまった。発行は期内ショートタームの発行案件が目立ち、9月末の償還額はすでに2兆円程度まで膨らんでいる。発行レートは、低水準で推移している短期国債からCPにシフトする動きも見られたことで、a-1+格の銘柄は0.075~0.085%と若干低下での推移となった。a-1格の銘柄はファンディングレートの高止まりを要因に0.095~0.105%と横ばい圏で推移となった。発行残高の積み上がった銘柄ではレートが切り上がる動きも見られた。

今週の短国市場は、17日に1Y物、18日に3M物の入札が実施される予定となっている。市場流通レートはマイナスとなっているだけに、入札結果が注目される。CP市場は18日を中心に発行が期待される。発行レートは引続き横ばい圏での推移が予想される。なお、17日にはCP等買入オペが予定されており、オペ対象銘柄次第では利回の低下も予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で600億円程度の発行超見通し。財政資金は、16日のTB3M発行超過と2Y発行を中心に14,000億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で1兆4,600億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。＜16日＞TB3M;償還48,100億円・発行57,000億円／2Y;償還20,700億円・発行27,000億円／個人向け3Y・5Y・10Y;発行1,800億円／個人向け3Y;償還500億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オ ペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
9/15 (月)				敬老の日				
9/16 (火)	1,400	△ 16,000	△ 14,600	CP買入 社債買入 短国買入 社債買入 貸出増加支援	△ 300 △ 500		△ 800	△ 15,400
9/17 (水)	1,000	0	1,000			2,500 1,500 25,900	29,600	30,600
9/18 (木)	△ 1,000	1,000	0		△ 300		0	0
9/19 (金)	△ 2,000	1,000	△ 1,000				0	△ 1,000
週 間 合 計	△ 600	△ 14,000	△ 14,600		△ 1,100	29,900	28,800	14,200

(注) 上表の9/16は日銀予想、9/17以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
9/15 (月)	敬老の日		8月の米鉱工業生産・設備稼働率
9/16 (火)	大阪経済4団体共催懇談会にて黒田総裁講演		米FOMC (1日目) 8月の米生産者物価指数 8月の英消費者物価指数
9/17 (水)		TB1Y 25,000億円 9/22発行 20Y 12,000億円 9/22発行	米FOMC (2日目) FRB 米経済見通し発表 8月の米消費者物価指数 ECB定例理事会(1日目、金融政策発表なし) 8月のユーロ圏消費者物価指数改定値
9/18 (木)	全国証券大会にて黒田総裁講演 8月の貿易統計 (財務省 8:50)	TB3M 57,000億円 9/22発行	8月の米住宅着工件数 ECB定例理事会(2日目、金融政策発表なし)
9/19 (金)	7月の景気動向指数改訂状況 (内閣府 14:00)		

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第526号 日本証券業協会加入